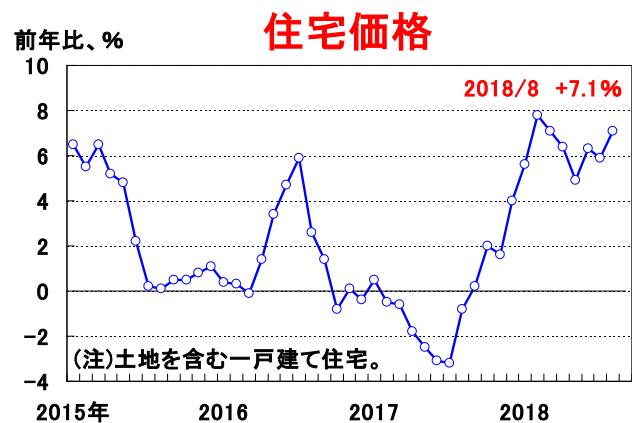
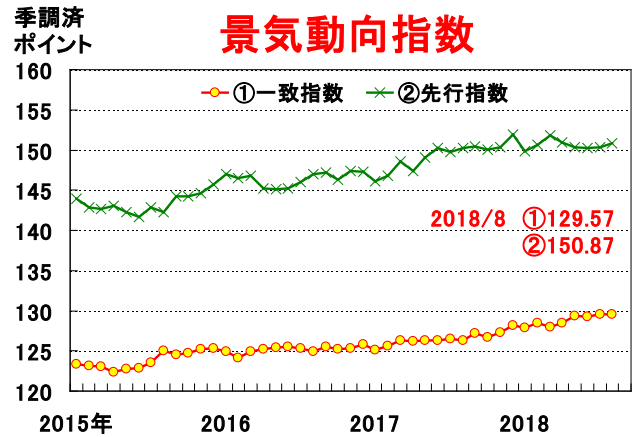
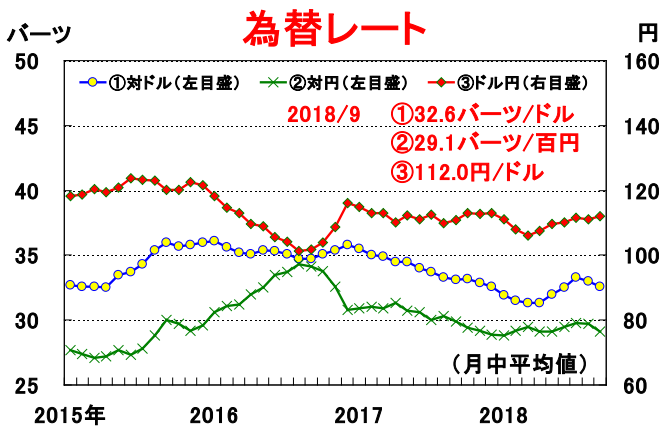
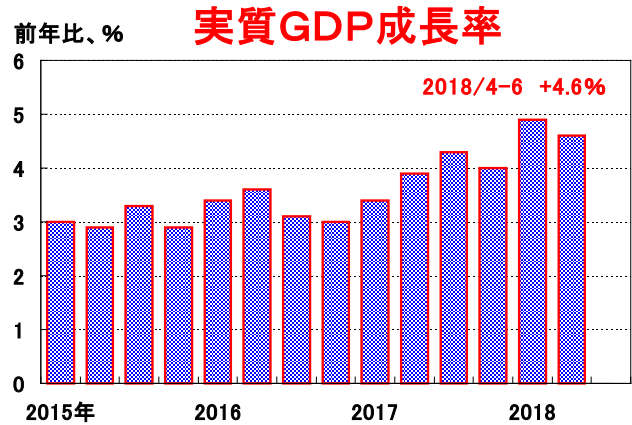
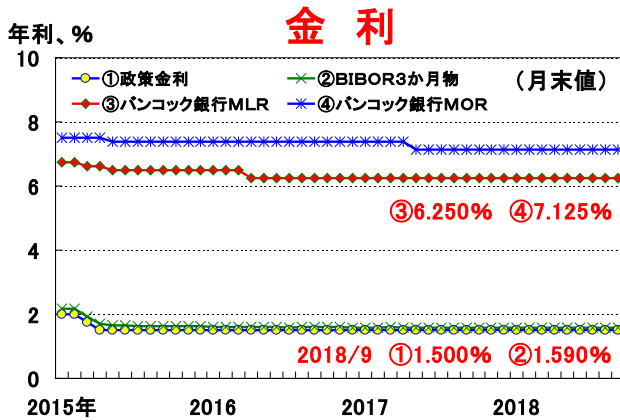


グラフで見るタイ経済 2018年10月号(No. 112)

タイ景気は回復基調で推移している。8月の指標をみると、景気動向指数は、一致指数が129.57と2か月続けて改善したうえ、先行指数も150.87と4か月ぶりの高水準となった。家計部門をみると、個人消費指数は前月比+0.1%と、耐久財消費の堅調な増加や外国人観光客の消費回復を背景に、5か月連続で上昇した。企業部門に関しては、輸出が前年比+6.7%と中国向けの増勢鈍化などにより減速したものの、工業生産指数は前月比+0.4%と上昇した。足元の9月の企業景況指数は51.4と5か月連続で中立水準の50を上回っている。



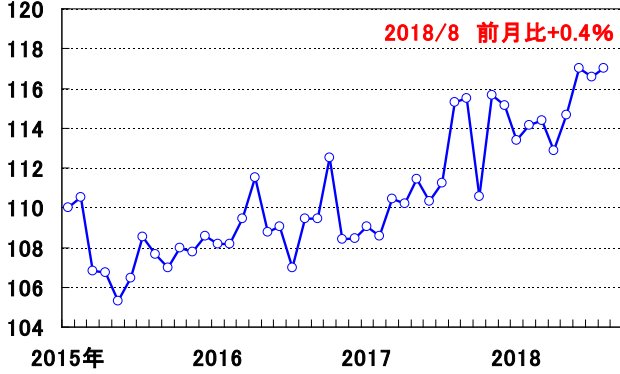
【今月のトピック:米中貿易紛争で加速するタイの輸出】9月に米国は2,000億ドル規模の中国製品向け制裁関税を発動した。タイ商務省の報告書によると、中国製品の代替需要により、ゴムブロックやココナツ、マンゴ、内燃エンジンの輸出が伸びる可能性がある。この他に、水産加工の分野も有望視されている。商務省の関係者は、タイのツナ缶の製造業者は恩恵を受けそうな最有力の産業であると述べている。タイの全国荷主協議会も、米中貿易紛争をタイ製品が米中双方の市場で拡大するチャンスだとみており、9月に公表した輸出の見通しは前回の予測から上方修正された。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

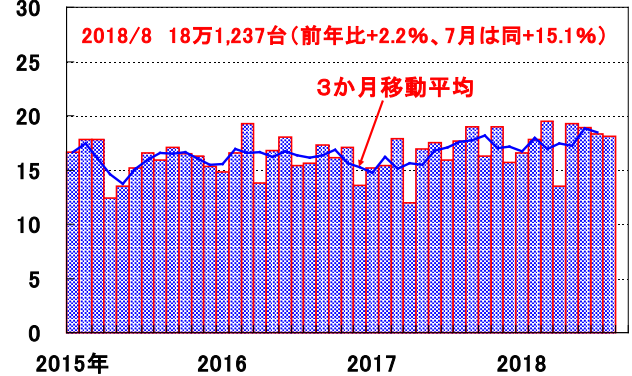
季調済
2011年=100

工業生産指数

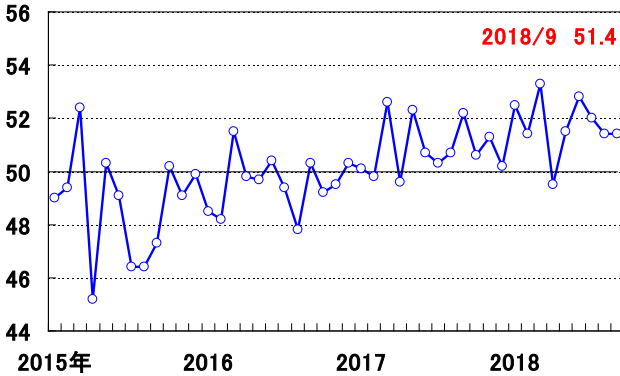


万台

自動車生産台数

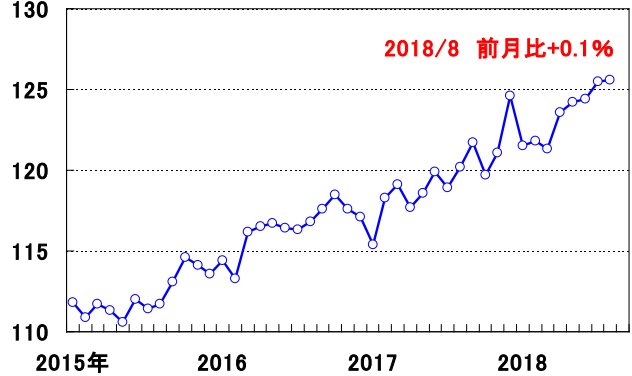


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



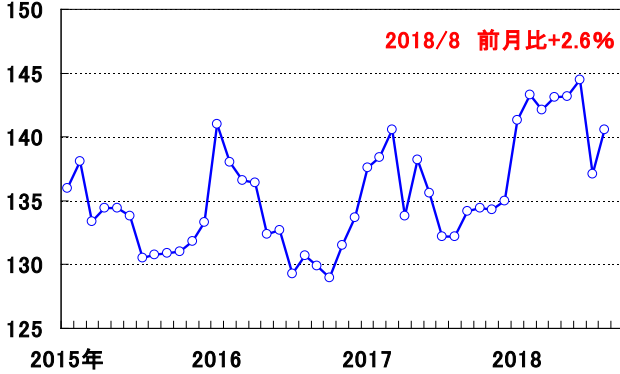
季調済
2000年=100

個人消費指数



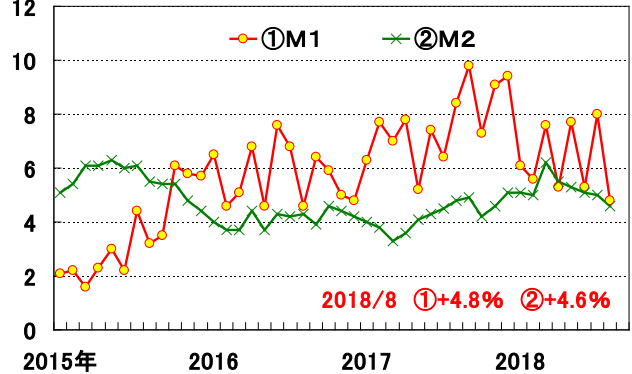
季調済
2010年=100

民間投資指数



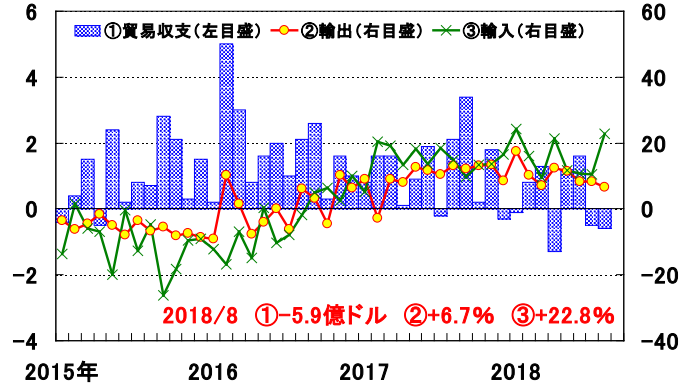
前年比、%

マネーサプライ



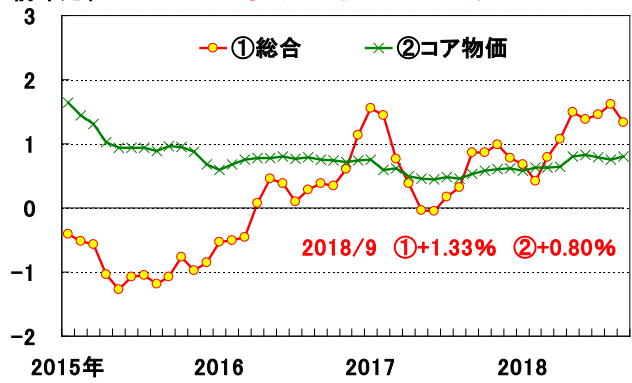
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。